



2019年5月14日

各位

上場会社名 株式会社博展
(コード番号: 2173 東証JASDAQ)
本社所在地 東京都中央区築地一丁目13番14号
代表者 代表取締役社長 田口徳久
問合せ先 取締役経営本部長 田中雅樹
電話番号 03(6278)0010

通期業績予想と実績値の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2018年5月11日に公表しました2019年3月期通期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記の通り修正すると共に、特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績値の差異について

2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,500	500	487	320	41円50銭
実績値 (B)	12,873	523	513	77	9円87銭
増減額 (B-A)	373	23	26	△242	
増減率 (%)	3.0	4.7	5.4	△75.9	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	11,777	455	452	237	30円82銭

※ 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

差異および修正の理由

当社グループの2019年3月期通期連結業績につきましては、顧客深耕による課題解決型の営業活動に注力すると共に、顧客のニーズを実現するクリエイティブ力と実行力を強みに積極的な新規営業を展開したことによりイベントプロモーションが前年同期比で倍増する等、連結売上高について前回発表予想を上回る結果となりました。連結営業利益につきましては、前述の要因により連結売上高が増加したことに加え、各プロジェクトの採算性を重視した取り組みや、積極的な先行投資を実施しつつもコスト管理の徹底に取り組んだこと等により、前回発表予想を上回る結果となりました。

しかしながら、下記「2. 特別損失の計上について」に記載の通り、当社の連結子会社である株式会社スプラシア（以下「スプラシア」といいます。）における事業計画の遅れに伴う影響を踏まえ、特別損失を計上するに至ったことから、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表予想を下回る結果となりました。なお、2019年3月期の配当予想（期末10.00円）につきましては変更いたしておりません。

2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社であるスプラシアは、携帯電話/スマートフォンの5G通信導入など通信インフラの強化により、法人での動画活用の活発化が期待される中、デジタルサイネージ、動画編集アプリケーションにおける技術力を活かした開発を進めるとともに、海外オフショア開発やデジタルマーケティングツール等にも積極的に取り組んでおります。しかしながら、自社開発サービスの収益化に当初計画よりも時間を要する状況となっております。

このことから、当社はスプラシアの事業計画の遅れに伴う影響を踏まえ、現時点におけるスプラシアの株式取得時の投資価値を会計ルールに則り厳密に検討した結果、個別決算において関係会社株式評価損5億62百万円を特別損失として計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算上消去されるため、連結決算業績に与える影響はございません。また、当社の個別決算において上記の関係会社株式評価損を計上することに伴い、連結決算において、連結上のみに識別されている無形固定資産及びのれんについて、減損損失1億1百万円、のれん償却額1億8百万円、スプラシアの個別決算で計上した固定資産の減損損失87百万円を特別損失に計上することといたしました。

以 上